

1. 中学入試の動向

「2024年度の首都圏中学入試を総括する」

安田教育研究所 安田 理 氏

2024年度の首都圏中学入試を総括する

安田教育研究所
安田 理

全体の状況

受験者数は微減

どのくらいの人が中学受験をしているか、という数字は実は公的な機関はどこも出していない（東京都教育委員会の場合は、小学6年生がどのような学校種＜公立、国立、私立、公立中高一貫校＞に進学したかという数字を12月ごろに公表）。そこで、国私立中学受験者は、大規模な模試を行っている会社がそれぞれに推定して出している。

- 首都圏模試 前年の52600名から200名減で52400名
- 日能研 前年の66500名から900名減で65600名（公立中高一貫校を含む）
- 四谷大塚 前年と同数の54700名

3模試とも横ばいか微減としており、10年連続受験者増にはならなかった。ただし、小6生が5800名も減っているので受験率は史上最高の18.12%となった。

受験率史上最高の背景

- 従来からの「大学進学に有利」「恵まれた環境」
- 公立小学校時代の経験から「公立を回避したい」
- わが子は「内申点」が取れそうにない
- わが子を「非正規雇用」にしないために
- グローバル教育、ICT教育、探究……私立中高一貫教育の良さに気づく
- コロナ禍での公私の対応の差に気づく

などが挙げられるだろう。上3つは従来からで、下3つが近年の背景と言える。

男女別日程別出願者数ランキング

私立中学について男女別日程別出願者数を出してみた。↑は前年より増加していること、↓は前年より減少していること、一は前年と同数であることを表す。2月1日については、午後入試は別の欄を設けたが、埼玉、千葉、2月2日、3日については同一欄にし、午後入試については下線を付した。

■ 男子

1月中埼玉	出願者数	1月中千葉	出願者数	2月1日午前	出願者数
栄東 A ↑	5302	市川① ↓	1731	開成 ↓	1259
栄東難関大 B ↑	2275	東邦大東邦前期 ↑	1451	早稲田① ↑	855
立教新座① ↓	1744	渋谷幕張① ↑	1427	麻布 ↓	826
大宮開成① ↑	1380	専大松戸① ↓	911	駒場東邦 ↑	644
開智① ↑	1372	芝浦工大柏① ↑	793	芝① ↑	600
開智所沢①N	1221	昭和秀英① ↑	685	慶應普通部 ↓	569
栄東東大特待 ↓	1188	専大松戸② ↑	622	武蔵 ↓	546
開智所沢②N	1094	芝浦工大柏② ↑	559	海城① ↓	538
開智② ↑	1088	千葉日大一① ↓	474	本郷① ↓	516
埼玉栄① ↑	997	麗澤① ↓	440	逗子開成① ↓	453

2月1日午後	出願者数	2月2日	出願者数	2月3日	出願者数
東京都市大付② ↓	1187	本郷② ↑	1420	浅野 ↑	1742
獨協② ↑	806	明大中野① ↑	937	早稲田② ↑	1460
世田谷学園算数 ↓	734	世田谷学園② ↓	913	海城② ↓	1381
巣鴨算数 ↑	690	城北② ↓	715	成城② ↑	1165
東京農大一① ↑	510	栄光学園 ↓	705	慶應中等部 ↑	861
国学院久我山S T① ↓	490	攻玉社② ↑	700	東京都市大付③ ↓	693
山手学院特待 ↓	430	高輪 B ↑	693	都市大等々力②特選 ↑	643
広尾学園② ↓	407	聖光学院① ↓	691	日大豊山④ ↓	599
関東学院①B ↓	403	桐朋② ↑	640	日大豊山③ ↓	486
佼成学園①特奨 ↑	396	日大豊山② ↓	607	京華③ ↑	465

<男女別内訳を出していない学校>

成田高校附属、法政大学、三田国際学園、明星

前年まで男女合計数しか公表していなかった学校が男女別の数字を出すようになり、現時点で内訳が不明な学校は上記の4校のみになった。

○1月中埼玉

激変した。開智と開智所沢とで10入試回中4入試回を占めた。開智所沢は開智と1月中の5回の入試すべてで、開智日本橋とは2月4日の1回のみを併願可能にし、同一日程、同一問題で入試を行い、1回の試験で2校の合格を獲得できるようにした。受験料20,000円ですべての入試を受けられるようにしたこともあり、いきなり大規模入試になった。

開智所沢は1月入試だけで初年度男子4096名、女子3424名合計7520名の出願があり、名目倍率32倍という入試になった。開智も男子4280名、女子3381名合計7661名と前年より3000名以上も増加、名目倍率はこれも28倍となった。

ただ1月入試ということで、2月から始まる東京・神奈川の受験生が“前受け受験”するケースが多く、開智所沢の例でいうと、5回の入試で受験者合計5203名に対し合計3579名の合格者を出している（実質倍率1.45倍）。

開智所沢がこれだけ集めただけに、城北埼玉、立教新座、埼玉平成、狭山ヶ丘、西武台新座、聖望学園、星野学園、細田学園といった西部地区の学校が影響を受けた。また「開智」という名前がひんばんに取り上げられたことにより、埼玉の開智未来だけでなく東京の開智日本橋、茨城の開智望も軒並み増加するという現象が見られた。

○1月中千葉

前年からコロナで敬遠していた東京・神奈川からの出願が戻ってきていたが、今年も遠くからも志望する上位校の多くが増やしている。10位までのメンバーは変わらず、順位も7位の芝浦工大柏②と8位の専大松戸②が入れ替わっただけで変動なし。今年の埼玉とは対照的。

○2月1日

前年は7校が増やしていたが、今年は増は3校しかない。前年増やしていた学校が今年減らした“隔年現象”が顕著。連続して増は早稲田①、駒場東邦、芝①しかない。逆に連続して減も麻布、武蔵、慶應普通部のみ。10位までの登場校は前年と全く変わっていない。

○2月1日午後

2月1日午前はすべて男子校だったが、午後になると共学校が登場してくる。東京農大一①、国学院久我山S T①、山手学院特待、広尾学園②、関東学院①Bと半数にも上る。ただ東京農大一①以外はいずれも減らしている。男子校は午後入試を行っている学校が案外少なく、行っても算数入試ということが多いことが共学校が多くなっている背景だろう。

ただメンバー的には芝国際午後特待に替わり俊成学園①特待が入ったくらいで変化は少ない。

1位の東京都市大付②はⅡ類（こちらがレベルが高い）695名、Ⅰ類492名の合計。2位の世田谷学園算数は本科389名、理数345名の合計。8位の広尾学園②も本科267名、インターSG140名の合計。前年は減らしていた学校が2校しかなかったが、今年は6校もある。

○2月2日

前年は減は明太中野①、日大豊山②のみであったが、今年は半数の5校が減らしている。

栄光学園、聖光学院①が共に減らしたことは、「最難関校が敬遠された」という 2024 年度入試を象徴している。一方で、攻玉社②、高輪 B、桐朋②が増やしたことも「中堅進学校の多くが増」という今年の動向を象徴している。11 位も獨協③の 575 名である。

メンバー的には法政二①に替わり攻玉社②が入ったくらいで変化は小さい。また 2 月 1 日午前に続きすべて男子校である。

○2月3日

3 日も 10 位の逗子開成②が京華③と入れ替わっただけで変化は少ない。共学校が慶應中等部、都市大等々力②特選の 2 校ある点が 1 日、2 日との違い。

午前入試は男子校ばかりで、それも年度が替わっても固定的であることがわかる。

■女子

1月中埼玉	出願者数	1月中千葉	出願者数	2月1日午前	出願者数
栄東 A ↓	2727	国府台女子学院① ↑	1060	女子学院 ↑	708
浦和明の星① ↓	1980	市川① ↓	890	吉祥女子① ↓	603
淑徳与野① ↑	1793	東邦大東邦前期 ↓	861	桜蔭 ↓	591
栄東難関大 B ↓	1235	和洋国府台① ↑	703	鷗友学園女子① ↓	520
開智① ↑	1153	昭和秀英① ↑	672	フェリス女学院 ↓	431
開智所沢① N	1088	渋谷幕張① ↓	632	雙葉 ↓	399
大宮開成① ↑	979	専大松戸① ↓	555	香蘭女学校 ↓	398
埼玉栄① ↑	943	麗澤① ↓	413	共立女子 2/1 ↑	375
開智所沢② N	939	和洋国府台② ↑	407	山脇学園 A ↓	348
開智② ↑	886	専大松戸② ↓	406	品川女子学院① ↓	322

2月1日午後	出願者数	2月2日	出願者数	2月3日	出願者数
山脇英 AL・国・算 ↑	873	吉祥女子② ↑	1007	横浜女学院 2/3 午後 ↓	926
横浜女学院 2/1 午後 ↓	726	豊島岡女子学園① ↓	993	豊島岡女子学園② ↓	881
広尾学園② ↓	535	香蘭女学校② ↓	747	鷗友学園女子② ↓	682
三輪田学園① 午後 ↑	523	山脇学園 B ↓	661	東洋英和女学院 B ↑	570
東京農大一① ↑	521	洗足学園② ↓	648	学習院女子 B ↑	532
湘南白百合算・国 ↑	500	共立女子 2/2 ↑	644	恵泉女学園③ ↓	475
恵泉女学園① ↓	475	大妻② ↑	643	慶應中等部 ↑	454
大妻中野② アド ↑	436	青山学院 ↓	538	共立女子 2/3 ↑	446
実践女子学園② ↓	371	恵泉女学園② ↓	517	実践女子学園⑤ ↓	445

東京女学館②↑	363	田園調布学園②↓	506	三輪田学園③↓	441
---------	-----	----------	-----	---------	-----

<男女別内訳を出していない学校>

成田高校附属、法政大学、三田国際学園、明星

○1月中埼玉

女子は例年浦和明の星①、淑徳与野①と女子校が上位に来る。男子でこの2校に当たるのが立教新座①、栄東東大特待で、そのほかの入試回は男子と同じ。開智と開智所沢とで10入試回中4入試回を占めたのも同様だ。開智、開智所沢とも男子より入試規模は小さくなっている。新設の入試回として注目を集めた淑徳与野の医進特別入試は525名。

佐藤栄学園グループ、開智グループで10入試回中7入試回を占めるのが埼玉の特殊性。

○1月中千葉

千葉は男女とも市川がずっと1位を占めてきた。今年は国府台女子学院①が4桁まで伸ばしトップに。そのほかも和洋国府台が2入試回が入るなど女子校が元気。10位までの共学校は昭和秀英①以外皆減らしているのと対照的だ。聖徳大学附属女子が共学校の光英 VERITASになり、女子校が2校だけになったことが大きいか……。

○2月1日

出願者数ベストテンでも今年は8入試回が減と、減らした入試回が多数派。男子以上に「難関校の敬遠」が目立った。1日に確実に合格を取り、2日以降にチャレンジするという慎重な姿勢が見られた。

メンバー的には10位に立教女学院に替わって品川女子学院①が入ったくらいで変化はごく小さい。2年連続増は共立女子2/1だけで、連続減も鳴友学園女子①、フェリス女学院だけと、驚くほどの隔年現象である。11位は学習院女子Aで320名。

○2月1日午後

午後入試にもかかわらず、10位が神奈川大附①に替わって東京女学館②になったくらいで変動は少ない。山脇学園の内訳は国語1科が485名、算数1科が315名、英語A Lが73名。いずれも少しずつ増えている。横浜女学院もB入試452名と特別奨学入試I 274名との合計数。それぞれの入試に国際教養クラスとアカデミッククラスがある。広尾学園②も本科329名とインターSG206名の合計数。湘南白百合の算・国は算数が225名、国語が275名と国語が若干多い。このように同一日時に異なる入試を構えるケースが年々増えている。

○2月2日

この日もメンバー的には横浜女学院2/3午後と田園調布学園②が入れ替わったくらいで変動は少ない。順位的には吉祥女子②が豊島岡女子学園①を抜いてトップになったことが画期的。出願者数ベストテンにもかかわらず1日午前は7入試回が減らしていたが、2日はそれを上回る8入試回が減。今年の入試がいかにも人気校に集中せずに出願先が分散したかの証明でもある。共学校は昨年に続き青山学院のみ。

○2月3日

3日も横浜共立学園Bに替わり共立女子2/3が入ったくらいで変化は少ない。共学校も慶應中等部のみ。

ここまで見てきた限りでは、埼玉で開智、開智所沢が大きく伸ばした以外は出願者数ランキングに大きな変動はなかった。全体的に入試規模は縮小している。

●共学校をクローズアップ

これまで男子、女子に分けて入試状況を見てきた。そうすると東京、神奈川ではどうしても共学校が埋没してしまう。で、共学校に絞って男女の合計数で見てみよう。同一日同一時間帯に異なる入試形態を設けているケースが増えているが、同一日同一時間帯なので複数に出願していないという前提で合計してみた。

■共学校（男女合計数）

2月1日午前	出願者数	2月1日午後	出願者数	2月2日午前	出願者数
安田学園①↑	791	東京農業大第一①↑	1031	法政大第二①↓	971
早稲田実業学校↑	585	広尾学園②本科&インターSG↓	942	青山学院↓	912
聖徳学園 2/1 適性検査&プライマリー↑	538	神奈川大附属①↑	717	渋谷教育学園渋谷②↓	838
宝仙理数①公立一貫&2科・4科↓	488	国学院久我山 ST①↓	688	神奈川大附属②↑	823
中央大附属①	475	山手学院 特待選抜↓	633	国学院久我山②↓	717
明大八王子 A①↑	464	都市大等々力①S特↓	626	安田学園③↑	682
芝浦工業大附属①↑	462	桐蔭学園①午後↑	590	明治大付属明治①↑	641
開智日本橋①↑	448	関東学院①B↓	549	芝浦工業大附属②↑	582
成城学園①↓	437	東京電機大②↑	529	慶應湘南藤沢↑	472
駒込①↑	433	かえつ有明 2/1 午後特待↓	470	日本大第三②↓	457

2月2日午後	出願者数	2月3日午前	出願者数	2月3日午後	出願者数
東京農大第一②↑	1014	慶應義塾中等部↑	1315	都市大等々力②特選↑	985
中央大附属横浜②↓	902	成城学園②↓	624	開智日本橋学園③↑	649

都市大等々力②S 特 ↑	808	明治大付属明治②↑	612	かえつ有明 2/3 午後特 待&AL 思考力特待↓	621
三田国際③ISC&IC↓	666	日本大学第二②↓	594	青山学院横浜英和 C↓	548
開智日本橋学園②↑	649	法政大学② ↓	521	広尾学園小石川③本 科&インターSG↓	541
桐蔭学園②午後↑	574	明大八王子 A②↑	463	国学院久我山 ST② ↑	537
かえつ有明 2/2 午後 特待↓	550	関東学院①C↑	461	淑徳②スーパー特進↓	370
広尾医進サイエンス↑	534	山手学院 B↓	435	サレジオン世田谷④↑	311
青山学院横浜英和 B↓	534	日本工業大駒場⑤↑	423	三田国際 MST↓	304
青稜②B↓	498	日本大第三③↓	389	帝京大学③↓	259

全体的な印象をまず述べよう。同じ校名が実に頻繁に出てくる。共学校は非常に多いが、人気校が多く日程で入試を構えているので、受験生はそこに何回も出願する。そのため分散せず、限られた学校しかベスト 10 に登場しないという状況が生まれている。

○2月1日午前

いちばん安定しているかと思われる2月1日午前がもっとも入れ替わっている。4校が前年にはなかった学校だ。明大八王子 A①、芝浦工業大附属①、開智日本橋①、駒込①。11位は渋谷教育学園渋谷①。上位には適性検査型入試に大勢の受験者がいる安田学園①、聖徳学園 2/1、宝仙理数①が並んでいることが2月1日の特徴的な点。

また、早稲田実業、中央大附属①、明大八王子 A①と多摩地区の付属校が並ぶ。

○2月1日午後

2校が入れ替わって広尾学園②本科&インターSG、桐蔭学園①午後が入った。神奈川が4校入っていることも特徴的。神奈川の別学校は午後入試を実施しているところが少ないので、必然的に共学校に向かうことになる。桐蔭学園は今年伸びた学校の1つだ。

○2月2日午前

青稜②Aに替わり慶應湘南藤沢が登場しただけと変化が少ない。2月2日午前は男子校でも学習院①、明大中野①、立教池袋①と付属校が多いが、共学校も法政大第二①、青山学院、明治大付属明治①、慶應湘南藤沢、日本大第三②と付属校が並ぶ。

○2月2日午後

2日午後でも芝国際 2/2 午後特待に替わり桐蔭学園②午後が入ったくらいと変動が少ない。順位も6位までは変わっていない。東京農業大第一②、都市大等々力②S 特、三田国際③ISC&ICと世田谷の学校が3校も入っていることが特徴的。

都市大等々力、三田国際、かえつ有明、開智日本橋、広尾学園と、“国際派私学”とされる学校が半数を占めている。これらの学校は併願されることが多いので、これだけこのカテゴ

リーの学校を志望する受験生がいるということだ。

○2月3日午前

なんと前年とメンバーは変わらず。慶應義塾中等部、成城学園②、明治大付属明治②、日本大第二②、法政大学②、明大八王子 A②と、2日午前以上に付属校が並ぶ。

○2月3日午後

都市大等々力、開智日本橋、かえつ有明、広尾学園小石川、サレジアン国際世田谷、三田国際と、2日午後以上に“国際派私学”が並ぶ。

通して見えることは、共学校では“付属校”と“国際派私学”に大勢の出願者がいるということ。裏を返せば、進学校志望者ほど伝統的な別学校を選んでいるということになるだろう。

主な動向

●男女とも難関校が減少

開成、麻布、武蔵、海城、栄光学園、聖光学院、桜蔭、雙葉、鷗友学園女子、吉祥女子、立教女学院、洗足学園、フェリス女学院など

●男女ともボリュームゾーンの中堅進学校が増加

■男子校 佼成学園、足立学園、成城、獨協、高輪など

■女子校 普連土学園、京華女子、淑徳与野、中村、国府台女子学院など

■共学校 開智所沢、開智、東京農大一、サレジアン国際世田谷、文化学園大杉並など

●付属校は隔年現象が顕著

前年より出願者が増えた学校、減った学校を、増減の幅を無視して大胆に分けると下記の表になる。●は男子校、○は女子校、無印は共学校を表す。

大学	増加校	減少校
早稲田	●早稲田、早稲田実業	●早稲田高等学院
慶應義塾	慶應中等部、慶應湘南藤沢	●慶應普通部
明治	●明大中野、明大八王子、明大明治	●日本学園
青山学院	青学浦和ルーテル	青山学院、青学横浜英和
立教		●立教池袋、●立教新座、○香蘭女学校、○立教女学院
中央	中央大附横浜	中央大附

法政	法政大学	法政二
学習院	●学習院、○学習院女子	
日本	千葉日大一	●日大豊山、○日大豊山女子、日大一、日大二、日大三、日黒日大、日本大学、日大藤沢
東洋		東洋大京北

表には 34 校あるが、前年の表と比較した時に、連続して増えているのは早稲田のみ。連続して減っているのも早稲田高等学院、慶應普通部、立教新座、東洋大京北と日大系の学校のみ。つまり前年減らした学校が増え、前年増やした学校が減るという見事なまでの隔年現象が起こるのが付属校の特徴。

明治系、青山学院系、中央系、法政系はそっくり入れ替わっている。

■理工系（実学系）大学の付属校が増加…芝浦工大附属、東京電機大学、東京農大第一、日本工業大駒場

付属校と言っても実際に併設大学に半数近くが進んでいるのは芝浦工業大学附属のみで、東京電機大学、日本工業大学駒場、芝浦工業大学柏などは併設大学が離れた立地ということもあり、他大学進学者のほうが圧倒的に多い。理系教育という教育内容面で選ばれていると言っていだろう。

○臨海部に立地の学校が人気

教育熱が高く、中学受験のメッカの一つである臨海部に立地する学校が人気だった…高輪、頌栄女子学院、申村、普連土学園、開智日本橋、芝浦工大附属、安田学園など

2025年度入試に向けての動き

○開校延期 2025年に予定されていた羽田国際の開校が2026年に延期に

○募集停止 横浜、緑が丘女子 高校だが、東京農大第一が高校募集を停止

○共学化 明法 2026年には東京女子学院、鎌倉女子大学が共学化

○算数入試新設 日本女子大附属、光塩女子学院 とともに2月1日午後の予定

○2月1日午前に参入 第1回・第2回とも午後だった東京農大第一が4科で参入

○募集人員削減 浅野 270→240 跡見学園 270→250